

## 丸川病院の特色～NICD～

今回は、2月に北海道(!)から赴任してこられた師長に、当院の特色、NICDについて、教えてもらいます(^\_^)/



病棟師長：水澤 弘代

Q.趣味を教えてください！

♨ 温泉 ♨ へ行くことです。

Q.健康法を教えてください！

自転車にのることです。

Q.子どもの頃の夢は??!

看護師です。

25年以上住み慣れた札幌を離れて、2月から病棟師長として当院に赴任してきました。言葉のことなどを含めて、札幌とは全く違う土地柄に最初は解らないことが多く、戸惑いばかりでした。そんな私に職員はもちろん、患者様からも富山のこと、朝日町のこと、ご当地の食べ物や温泉のことなどたくさんのことを教えて頂き、4か月経ってかなり馴染んできたように思います。

札幌では急性期の脳外科に勤務し、命の危険性と隣合わせの方や全く反応がない植物状態の方など、様々な状況の方の看護に携わらせていただきました。その中で自分自身が大切にしてきたことは、「その人らしさ」を大切に、「その人らしく」生きることができるよう、その方の人生に寄り添える看護を実践することでした。ですから**当院の理念が「その人らしく生きる」**であることを聞かされた時は、今まで自分がやってきたこと、看護観にあまりにも合致していることにびっくりしました。正直、一種の運命的なものを感じるほどでした。

当院の理念である「その人らしく生きる」という考え方は、当院が推奨している**NICD(「寝たきり・廃用症候群予防のための看護」)**の真髄でもあります。NICDは「**看護が変われば、患者様の人生が変わる**」をモットーとして、患者様の持っている力、残存能力を最大限に引き出し、患者様がその人らしく生きていけるように看護を実践する考え方が基本になっています。どのような状況にあっても、多少なりとも他者の力を借りても、患者様が自立して生きていけるよう支援していくことが、NICDの考え方であり、当院における我々看護師の使命だと考えています。しかしながらこのような支援は、看護師だけ頑張ればできるというのではなく、医師や理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士など患者様に関わる全ての職種が連携できて初めて、達成が可能となります。そして当院はそのような支援ができる施設であることを、職員一人一人が考え実践しております。

いつまでも患者様やご家族の方、そして地域住民の方々に愛され信頼される施設となれるよう、私も職員の一員として、切磋琢磨していきたいと思っております。



師長、ありがとうございました(\*^。^\*)(S)

# まるかわ便り

第2号

## 平成28年2月新病院オープン

平成24年に新病院構想を練り始めて3年が経過しました。新築移転に際して、この場を借りてご報告申し上げます。

この度、確認申請など行政上の手続きを完了し、平成27年5月末より入善町青島の地でついに建築が始まりました。建設期間中は、近隣住民の方へご迷惑をお掛けしますこととお詫び申し上げます。

新病院のことを少しご紹介させていただきますと、フロアは現在の3階建てから2階建てで病室はワンフロアとし、廊下も病室もゆとりを持たせたスペースを確保しました。

中でも大きな特徴は、すべての病室の目の前がリハビリ訓練室となっている点です。病院での入院生活のすべてが在宅後の生活に繋がるリハビリと考え、常にリハビリに専念していただけることを目的としています。

日々の工事の進捗状況を見ますと、大きな船出に対する期待もあり、一方で今後の厚生行政などに対する不安もあります。しかし、一人でも多くの方の社会復帰、在宅復帰のために尽力するという気持ちだけは変わりません。当院のスタッフと力を合わせ、「チーム丸川」として引き続き研鑽を重ねて参ります。

今後とも、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

院長 丸川 浩平



編集後記:まるかわだより第1号から、約半年。無事、第2号を発刊することとなりました。今回は、丸川病院の新メンバーを中心とした広報誌になりました。彼らのフレッシュなまぶしさに負けず、私たちも気持ちを新たに、キラキラ笑顔で患者様が「その人らしく」過ごしていけるよう取り組んでいきます。(^\_^)/

季節が夏に近づいています。水分補給で熱中症対策万全に!(\*^。^\*)(S)

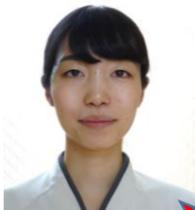
## ♪ 新入職員紹介



病棟看護師:池田 早苗  
今までの経験を活かして、少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



病棟看護師:橋本 康子  
私の人生の中で大きな決断をして、4月から丸川病院に勤務させていただいています。患者様と共にリハビリに励み、元気になって退院される姿を見る事ができて、看護の喜びを日々感じています。まだまだ未熟者ですが、丸川病院で一人前のスタッフになれるよう頑張ります。



リハビリ部門 理学療法士:高井 遥菜  
自分の未熟さに頭を悩ませながらも、毎日楽しく仕事をさせて頂いています。ゆくゆくは臨床に立ちながら、研究との両刀遣いになるのが目標です。早く一人前になれるよう、日々研鑽し、成長していきたいです。よろしくお願いします。



リハビリ部門 理学療法士:戸田 雄大  
丸川病院の「その人らしく生きる」という理念に基づき、少しでも多くの患者さんが今まで通りの生活を送れるように精一杯頑張っていきたいと思います。



リハビリ部門 作業療法士:行澤 史都  
患者様が構築してこられたライフスタイルを継続できるようサポートできる作業療法士を目指し、日々向上心を持って取り組み、自分自身も成長できるよう頑張ります。



通所リハビリ ひまわり  
介護士:下澤 麻美  
日々勉強で学生に戻った気分ですが、責任を持って仕事に取り組んでいます。



通所リハビリ ひまわり  
介護士:宮成 みちよ  
1年後、2年後の自分の成長を目標に、毎日一生懸命頑張ります。



医事課;中 穂乃佳  
一日でも早く担当業務を任せてもらえるよう努力し、地域の皆様に愛される病院の一員として活躍できるよう頑張ります。



社会福祉士:中島 瑠衣子  
患者様が“その人らしく”生活できるよう、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、精一杯支援していきたいです。笑顔と感謝の気持ちを忘れず、日々頑張ります！

新入職員のみなさん、ありがとうございました(\*^^\*)

## 部署紹介 リハビリテーション科



リハビリテーション部

課長 井亦 聖

当院のリハビリテーションは3つの職種に分かれています！

### 【理学療法士】~Physical Therapist~

理学療法では日常生活動作(ADL)の元となる、寝返り、起き上がり、座る、立ち上がる基本動作や歩くなどの移動の改善を図るために、関節可動域、筋力などの運動機能を高めます。

### 【作業療法士】~Occupational Therapist~

作業活動を通じて、実際の生活に必要な筋力やバランス能力・体力の維持・向上を図り、食事や洗面・歯磨き・更衣・トイレ・入浴などの日常生活動作の獲得のための練習や、退院後の生活の支援のための環境調整や自助具の提案・作成などを行います。

### 【言語聴覚士】~Speech language hearing Therapist~

言語聴覚士は、ことばや発声・発音、認知などのコミュニケーションに関する機能に問題がある方、食べること・飲み込むことに問題のある方に対して、リハビリテーションを行っています。



### ♪ 一日のスケジュール

今日のスケジュール				
8時	9時	10時	11時	12時
朝食	朝集	入浴	リハビリ学	昼食
13時	14時	15時	16時	17時
	リハ言語	リハ作業		
	担当理学療法士 紙谷貴裕	担当作業療法士 橋一希	担当言語聴覚士 高島和京	

1日が充実しています(^\_^)/

①最大3時間のリハビリ！！

②看護師による充実したNICDのプログラム！！

NICDについては最後のページへ(^0^)/